

政策評価調書 目標年度(27年度)実績

政策名	地域の底力の向上 ～助け合い、支え合いによる豊かな地域生活の実現～	政策コード	I-8	関係部局名	企画振興部、福祉保健部、生活環境部、土木建築部
-----	--------------------------------------	-------	-----	-------	-------------------------

【Ⅰ. 政策の概要】

コミュニティバスの運行など、住民ニーズにきめ細かく対応する取組への支援や、地域での見守り・支え合い活動の促進、小規模集落における生活用水の確保、生活関連道路の整備、集落外の人材も取り込んだ地域の活性化などを進める。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

施策名		指標評価	総合評価
1	地域で共に支え合うまちづくり	概ね達成	B
2	小規模集落の維持・活性化	達成	A

【Ⅴ. 政策の達成状況と評価】

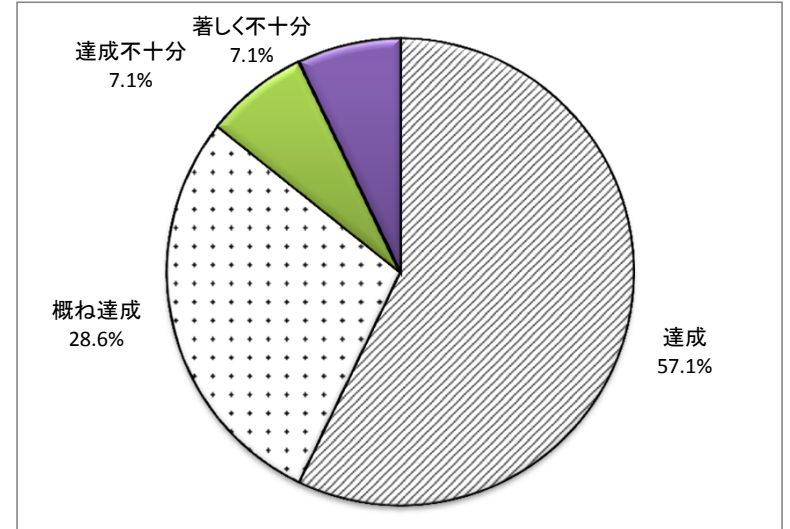
「地域で共に支え合うまちづくり」では、地域コミュニティ活動や高齢者のサロン活動への支援を行ったほか、ニーズが増大する福祉・介護分野の人材確保のため就職フェアやキャリアパス支援等を実施し、各目標指標を概ね達成する事ができた。

「小規模集落の維持・活性化」では、給水施設の整備やアクセス道路の改善などの「生活環境の整備」、小規模集落応援隊の活用などの「安全・安心の確保」などにより、関係する指標は総じて目標を達成することができた。

政策全体の評価としては、重点指標である「見守りなどの小地域ネットワーク組織が設置された自治会数」は自治会への働きかけ等により目標を概ね達成した。また、生活困窮者に対する包括的な支援の実施や平成20年度から全国に先駆けて設置した「小規模集落対策本部会議」などを通じた小規模集落の活性化支援など、地域で支え合う社会づくりに市町村と連携して取り組むことができた。

今後は、地域で安心して暮らすための市民後見人等の養成や、喫緊の課題である地域福祉の担い手の確保、小規模集落増加に対するネットワーク・コミュニティ形成の推進などにより安全・安心な地域社会の構築を図る。

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



達成	概ね達成	達成不十分	著しく不十分	指標合計
8	4	1	1	14

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
自主防災組織活動実施率	70.0%

<著しく不十分となった理由>

訓練実施や啓発活動推進を働きかけてきたが、全市一斉避難訓練を2年又は3年に1度実施する市町村があり、それにあわせて避難訓練等を実施する自主防災組織が多いため、目標に達しなかったものの、自主防災組織の組織率は94%となっており、引き続き訓練実施や啓発活動を推進する。